



発行所 県立芦屋高等学校 出版部 兵庫県芦屋市宮川町55

記念祭演歌・募集 応募場所 教務部或は執行委員会 九月月中旬 執行委員会

多彩な行事計画

育友会も多大の協力

本校今年で創立十五周年を迎え、それならぬ記念行事も、数年来の不況を脱して、諸君の協力を得て、各運動部の活躍、文化部の躍進、各種委員会活動、中心になつて行われる十五周年記念行事も、多岐にわたる記念行事を計画して、実行されることとなつた。

創立十五周年行事案

記念行事案成る

- 一、運動部、文化部、書記外局及び書記局(自治会)十五周年総業
- 二、演劇
- 三、記念祭援助
- 四、略旗の作製
- 五、予備費
- 六、予備費、一万四千元
- 合計予算額十五万円

一、運動部 六月十日の役員会が決定される。運動部は、創立十五周年記念行事の中心となつて、各運動部の活躍、文化部の躍進、各種委員会活動、中心になつて行われる十五周年記念行事も、多岐にわたる記念行事を計画して、実行されることとなつた。

岩波文庫を寄贈

同窓会より図書館に

本校同窓会(会費部)は、七月十日、同窓会より、岩波文庫を寄贈した。同窓会は、本校の発展に貢献することを期し、同窓会員から集めた寄附金を、岩波文庫の寄贈に充てた。

植樹案に期待

自治会 表彰案廃止は当然

自治会 功労者 表彰案廃止は当然。自治会は、本校の発展に貢献することを期し、功労者を表彰する案を提出した。しかし、この案は、本校の財政状況から見て、廃止が当然であると判断された。

記念祭日程調査始まる

記念祭 十月十日(土)の開催が決定した。本校は、創立十五周年記念祭を、十月十日(土)に開催することとした。この日は、秋高气爽で、行事の開催に最適な日である。

修学旅行出発遅る

修学旅行 出発遅る。本校の修学旅行は、予定通り行われる予定だったが、出発が遅れた。これは、天候の影響によるものと見られる。

応援団再発足 昨年度の夏の甲子園大会で活躍した本校の応援団が、今年も再発足した。応援団員は、本校の発展に貢献することを期し、練習に励んでいる。

時計設置は育友会 本校の時計は、育友会が設置した。育友会は、本校の発展に貢献することを期し、時計の設置に尽力した。

時計設置は育友会 本校の時計は、育友会が設置した。育友会は、本校の発展に貢献することを期し、時計の設置に尽力した。

時計設置は育友会 本校の時計は、育友会が設置した。育友会は、本校の発展に貢献することを期し、時計の設置に尽力した。

時計設置は育友会 本校の時計は、育友会が設置した。育友会は、本校の発展に貢献することを期し、時計の設置に尽力した。

時計設置は育友会 本校の時計は、育友会が設置した。育友会は、本校の発展に貢献することを期し、時計の設置に尽力した。

時計設置は育友会 本校の時計は、育友会が設置した。育友会は、本校の発展に貢献することを期し、時計の設置に尽力した。

植樹案に期待 自治会 功労者 表彰案廃止は当然。自治会は、本校の発展に貢献することを期し、功労者を表彰する案を提出した。しかし、この案は、本校の財政状況から見て、廃止が当然であると判断された。

岩波文庫を寄贈 同窓会より図書館に。本校同窓会(会費部)は、七月十日、同窓会より、岩波文庫を寄贈した。同窓会は、本校の発展に貢献することを期し、同窓会員から集めた寄附金を、岩波文庫の寄贈に充てた。

多彩な行事計画 育友会も多大の協力。本校今年で創立十五周年を迎え、それならぬ記念行事も、数年来の不況を脱して、諸君の協力を得て、各運動部の活躍、文化部の躍進、各種委員会活動、中心になつて行われる十五周年記念行事も、多岐にわたる記念行事を計画して、実行されることとなつた。

創立十五周年 記念行事案成る

芦高十五年の歩み

三、流連時代

五月五日、創立十五周年記念大会が、本校体育館において盛大に行われ、各界の来賓が数多く参加された。この記念大会は、本校の歩みを振り返る貴重な機会となり、来賓の方々から、本校の発展を願う激励の言葉をいただきました。

当日は、まず校長の挨拶があり、続いて創立十五周年の経緯が紹介されました。創立以来、本校は常に時代の潮流を捉え、教育の質を向上させてまいりました。この歩みに、多くの先生と生徒が心血を注ぎ、今日まで成長することができました。

七教室に三部授業

● 学園生活を人間完成の場に ●

福田 政次郎

本校が今年、創立十五周年を迎えるにあたり、学園生活を人間完成の場にしようとする。そのためには、単に知識を授けるだけでなく、生徒の個性を伸ばし、人間性を養うことが大切である。

七教室に三部授業を導入し、授業の質を向上させる。これにより、生徒は主体的に学習し、自ら考え、自ら行動する力を身につけることができるようになる。また、校内外の活動を積極的に参加し、社会性を身につけていく。

持たたい心の余裕

第一回 談話会への断想

熊谷 俊 作

この頃、世の中は激動の時代を迎えている。戦後、日本は大きな変革を遂げ、新しい道を歩み出している。この変化の中で、我々教育者として、どのような教育を提供すべきか、悩んでいる。

第一回談話会では、この悩みを共有し、意見を交換する機会を設けた。参加者からは、多岐にわたる意見が述べられた。これらは、今後の教育実践に大きなヒントを与えている。

現在、本校は「三部授業」の導入を進めている。これは、従来の授業形式とは異なり、生徒が主体的に学習し、自ら考え、自ら行動する力を身につけることを目的としている。

この取り組みにより、生徒の学習意欲が向上し、授業の質も大きく向上している。また、校内外の活動を積極的に参加し、社会性を身につけていく。

十字路

ギリギリで充分

五月九日からの地味な授業

五月十日からの地味な授業

五月十一日からの地味な授業

五月十二日からの地味な授業

五月十三日からの地味な授業

五月十四日からの地味な授業

五月十五日からの地味な授業

五月十六日からの地味な授業

五月十七日からの地味な授業

五月十八日からの地味な授業

五月十九日からの地味な授業

五月二十日からの地味な授業

五月二十一日からの地味な授業

五月二十二日からの地味な授業

五月二十三日からの地味な授業

五月二十四日からの地味な授業

五月二十五日からの地味な授業

五月二十六日からの地味な授業

五月二十七日からの地味な授業

五月二十八日からの地味な授業

五月二十九日からの地味な授業

五月三十日からの地味な授業

運動用具購入

投書箱設置

出版部

不戦勝のチャムドマン

不戦勝のチャムドマン

五月九日からの地味な授業

五月十日からの地味な授業

五月十一日からの地味な授業

五月十二日からの地味な授業

五月十三日からの地味な授業

五月十四日からの地味な授業

五月十五日からの地味な授業

五月十六日からの地味な授業

五月十七日からの地味な授業

五月十八日からの地味な授業

五月十九日からの地味な授業

五月二十日からの地味な授業

五月二十一日からの地味な授業

五月二十三日からの地味な授業

五月二十五日からの地味な授業

五月二十六日からの地味な授業

五月二十七日からの地味な授業

五月二十八日からの地味な授業

五月二十九日からの地味な授業

五月三十日からの地味な授業

花火 第九号

原稿募集!

形式：文芸評論、随想、詩、小説、その他

長さ：自由

但し四百字詰原稿用紙使用のこと

締切：九月五日

文芸部員に直接手渡すこと

発表：十月月上旬「花火」第九号誌上

三省堂 夏期問題中心講座

英語リズミク講座

神戸放送 (FM77)

毎朝 6時25分 - 6時55分

テキスト 7月号

講師：荒牧鉄雄、堀木隆一、沢崎九三、鷺巢尚、川本茂雄、酒井善孝、藤井一五郎、西崎一郎

三省堂 夏期英語特別講習会

三日直講 講師の直接指導

日時：八月一日から八月五日まで

(午前) 八時 - 十二時 二十五分

(午後) 二時 - 六時 二十五分

六日……模擬試験

会場：立川市立立川高等学校

申込先：三省堂出版株式会社

申込締切：七月二十日(郵便次優先)

会費：二〇〇円 教材費：三〇円 受験料：五〇円

講師：英文解釈 青山学院大 荒牧鉄雄、英文文法 横浜国大 沢崎九三、英文作文 神戸大 米田一彦、英文演劇 大阪大 宮田明夫

三省堂 神戸新聞・神戸放送

東京都千代田区神田神保町1-1 三省堂 振替東京110159

近畿大会に優勝

文化部の活躍目覚まし

五、六の二ヶ月の間に本邦文化部の収めた成績は、サッカー、軟式野球の近畿大会優勝、軟式野球の全日本大会及び全日本学生大会、拳闘部の全日本大会出場、文化部に於けるESSの活躍、片断部の校内での活躍を自覚し、翌二、三年來の不振は度々忘れ去られた。

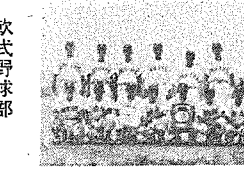
サッカー部

近畿軟式サッカー選手権大会は五月二十五、六の両日神戸商大大会開催、軟式野球の全日本大会及び全日本学生大会、拳闘部の全日本大会出場、文化部に於けるESSの活躍、片断部の校内での活躍を自覚し、翌二、三年來の不振は度々忘れ去られた。

Table with match results for football, including teams like 神戸商大 and 大阪商大, and scores.



軟式野球部 春季大会、五月十二日日本橋、金子選、優勝。



軟式野球部 春季大会、五月十二日日本橋、金子選、優勝。



(写真説明) [左上]優勝のサッカー部、[右上]優勝の軟式野球部、[下]優勝の軟式野球部。

剣道部の巻

「エー」ヤン、「わ」わん、と、上りの打声、下りの打声、が、朝の練習場を、響かせる。その音、は、剣道部の、活動の、中心、である。



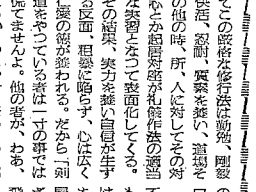
剣道部、練習中。

一太刀に万心の響き

剣道とは動く座禪、座禪とは動く剣道、この二つは、互いに、影響を、与え、合せて、一つの、文化、を、形成、している。

訪問

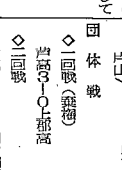
「エー」ヤン、「わ」わん、と、上りの打声、下りの打声、が、朝の練習場を、響かせる。その音、は、剣道部の、活動の、中心、である。



剣道部、練習中。

軟式庭球

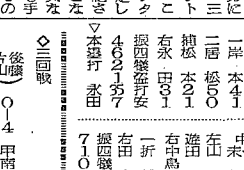
植木組、全日本大会へ出場、文谷組は、西日本大会へ、出場、した。



軟式庭球、試合中。

川村君全日大会へ出場

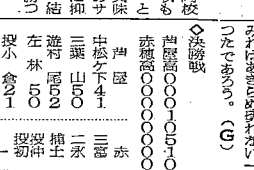
川村君、全日本大会へ出場、した。彼は、西日本大会で、優勝、した。



川村君、全日本大会へ出場。

ESS 各大会で活躍

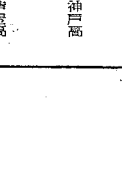
ESS、各大会で活躍、した。彼らは、多くの、賞状、を受賞、した。



ESS、各大会で活躍。

柔道部

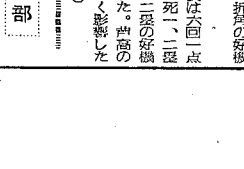
柔道部、練習中、の、様子、を、紹介、する。



柔道部、練習中。

拳闘部

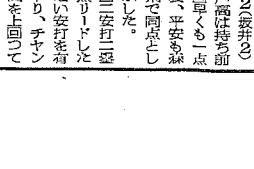
拳闘部、練習中、の、様子、を、紹介、する。



拳闘部、練習中。

棒道部

棒道部、練習中、の、様子、を、紹介、する。



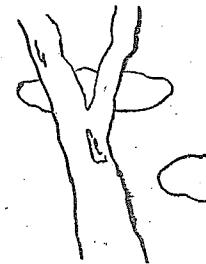
棒道部、練習中。

一昔一原稿募集

一昔一原稿募集、の、詳細、を、紹介、する。

一昔一原稿募集、の、詳細、を、紹介、する。

芸 学



喜びの優勝を得た

喬 茂 丸

昭和二十七年、私は、この「芸学」の欄に、私の小説「喜びの優勝」を発表した。その時、私は、この作品が、読者の心を打つて、多くの賛賞を得ることを望んでいた。しかし、発表当分の間は、ほとんど無音状態であった。ところが、最近、この作品が、多くの読者の心を打つて、多くの賛賞を得るようになった。これは、私の喜びである。この作品が、読者の心を打つて、多くの賛賞を得るようになったのは、私の努力のおかげである。私は、これからも、読者の心を打つて、多くの賛賞を得ることを目指して、創作活動に取り組んでいくつもりである。

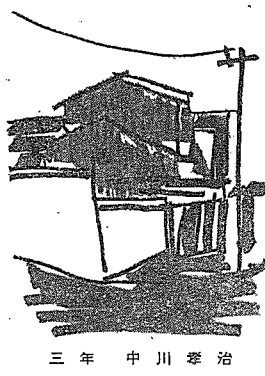
「芦展を見て」

中西 清

地味な、しかし、興味深い。この「芦展を見て」は、作者の、芦花の作品に対する、深い理解と、敬意が、感じられる。作者は、芦花の作品の、奥行きと、深さを、よく理解している。そして、その理解を、読者に伝えるために、この作品を書いたのだと思う。この作品は、芦花の作品の、魅力を、よく表現している。そして、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得るようになった。これは、作者の、努力のおかげである。私は、これからも、芦花の作品の、魅力を、よく表現し、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得ることを目指して、創作活動に取り組んでいくつもりである。

あまなつと

あまなつと、あまなつと、あまなつと。この言葉は、夏の季節を、よく表現している。そして、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得るようになった。これは、作者の、努力のおかげである。私は、これからも、あまなつと、あまなつと、あまなつと、と、創作活動に取り組んでいくつもりである。



三 年 中 川 幸 治

この作品は、作者の、深い理解と、敬意が、感じられる。作者は、芦花の作品の、奥行きと、深さを、よく理解している。そして、その理解を、読者に伝えるために、この作品を書いたのだと思う。この作品は、芦花の作品の、魅力を、よく表現している。そして、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得るようになった。これは、作者の、努力のおかげである。私は、これからも、芦花の作品の、魅力を、よく表現し、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得ることを目指して、創作活動に取り組んでいくつもりである。

「論文」募集

- 一、論 題 「半園生活の本質を何処にみるか」
 - 一、応募資格 本校自治会員に限る
 - 一、発表先 本校自治会員による
 - 一、制紙枚数 四百字詰原稿用紙十五枚以上
 - 一、発 表 九月三十日(金) 芦花新聞第六〇号紙上
- 秀作三篇を芦花第九号に発表する。

協力の精神を貫く

記念祭を控えて

溝 口 武 志

この記念祭は、私たちの学校生活の、重要な節目である。そして、この記念祭を、よく迎えるために、私たちは、協力し、努力を怠らないう。この記念祭は、私たちの学校生活の、重要な節目である。そして、この記念祭を、よく迎えるために、私たちは、協力し、努力を怠らないう。この記念祭は、私たちの学校生活の、重要な節目である。そして、この記念祭を、よく迎えるために、私たちは、協力し、努力を怠らないう。

たにま



この「たにま」は、作者の、深い理解と、敬意が、感じられる。作者は、芦花の作品の、奥行きと、深さを、よく理解している。そして、その理解を、読者に伝えるために、この作品を書いたのだと思う。この作品は、芦花の作品の、魅力を、よく表現している。そして、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得るようになった。これは、作者の、努力のおかげである。私は、これからも、芦花の作品の、魅力を、よく表現し、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得ることを目指して、創作活動に取り組んでいくつもりである。

良い映画

この映画は、作者の、深い理解と、敬意が、感じられる。作者は、芦花の作品の、奥行きと、深さを、よく理解している。そして、その理解を、読者に伝えるために、この作品を書いたのだと思う。この作品は、芦花の作品の、魅力を、よく表現している。そして、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得るようになった。これは、作者の、努力のおかげである。私は、これからも、芦花の作品の、魅力を、よく表現し、読者の心を、打つて、多くの賛賞を得ることを目指して、創作活動に取り組んでいくつもりである。